

餌付けはやめましょう

ハト、スズメ、カラス、キツネ etc・・・これら野生動物は、厳しい自然環境（あるいは都市環境）の中で、自分の力で餌を確保して生きています。

そうした野生動物に餌を与えること（＝餌付け）によって、様々な影響が心配されます。

野生動物への影響

人が与える餌に依存するようになり、**自分の力で餌を採れなく（採らなく）なる**個体を生じさせます。

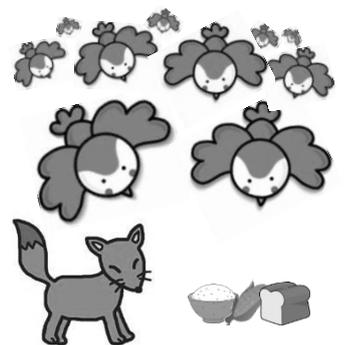
特定の野生動物のみを餌付けし、**生息数が増える**ことで、**生態系のバランスを乱す**可能性があります。

人の食べ物には、野生動物が本来食べることのない様々な**調味料や添加物等**が含まれています。餌付けにより、こうした成分を**日常的に摂取**することで、**病気などにかかる**個体が生じます。

渡り鳥を餌付けすると、**群れの行動（移動のルートや時期など）に影響を与える**可能性があります。

餌付けによって人に慣れた野生動物は人を恐れなくなり、**農業被害や人的被害を引き起こす原因**となります場合があります。その結果、被害防止のために**駆除され、命を落とす**野生動物を増やすことにもつながります。

餌付けで誘引された個体が**不自然に集中**することで、糞害などの生活環境の悪化につながるほか、餌付けの対象によっては**感染症の発生や拡大**も心配されます。



このように、「餌付け」は、野生動物のためにならないことに加え、多くの人たちに迷惑をかけることにもつながります。

野生動物を「かわいい」と思えばこそ、餌付けをせず、そっと見守ってあげましょう。

【問合せ先】

旭川市役所 環境総務課 環境保全係
電話（0166-25-5350）

人間への影響